

同時通話型トランシーバー・無線インカム のご提案

～製造業・建設業(クレーン作業)・港湾荷役・造船業 などの
みなさまへ～

1. 同時通話型 特小ランシーバー 基本運用例 (HX824・VLM-850Aなど)

同時通話は電話と同様にAが通話ボタンを押して送信する
(呼び出す)と、Bが着信音で呼び出され、ボタンを押す(設定により、自動着信も可能)
この時点で通話開始。【通話時間:1mW=無制限 10mW=3分】

■よって作業をしながら(1:1=2者間)ハンズフリー通話ができます。

【A】



【B】



1号クレーン
吊り上げ
願いまーす

了解でーす！
ご安全に！

■クレーンオペさん向けの車載型:MBL88もあります。



【参考】

■VLM-850A 《傍受モード(第三者モニター)》 運用例

①送受信者はそれぞれ【A】機、【B】機に設定。(A/B手動)

②【B】機は『傍受対応複信』に設定。

③傍受(モニター)機は、通話モード＝傍受に設定。

*モニター機は送信(通話)することはできません。

A:送受信者 【1-01】



B:送受信者 【1-01】



①同時通話



②傍受(第三者)



傍受(モニター)機 【1-A】

【参考】

■HX824/L 《擬似3者間通話》 運用例（車載型MBL88との混在可）

①個別【Id 01】がコールボタンを押し、B、C に送信。

【もう一度コールボタンを押さない限り、個別【Id 01】 は送信しっ放し】

（この際、個別【Id 02】【Id 03】の両方は、個別【Id 01】の音声を受信）

②次に個別【Id 02】がコールボタンを押すと、個別【Id 01】、個別【Id 02】の間で同時通話開始。

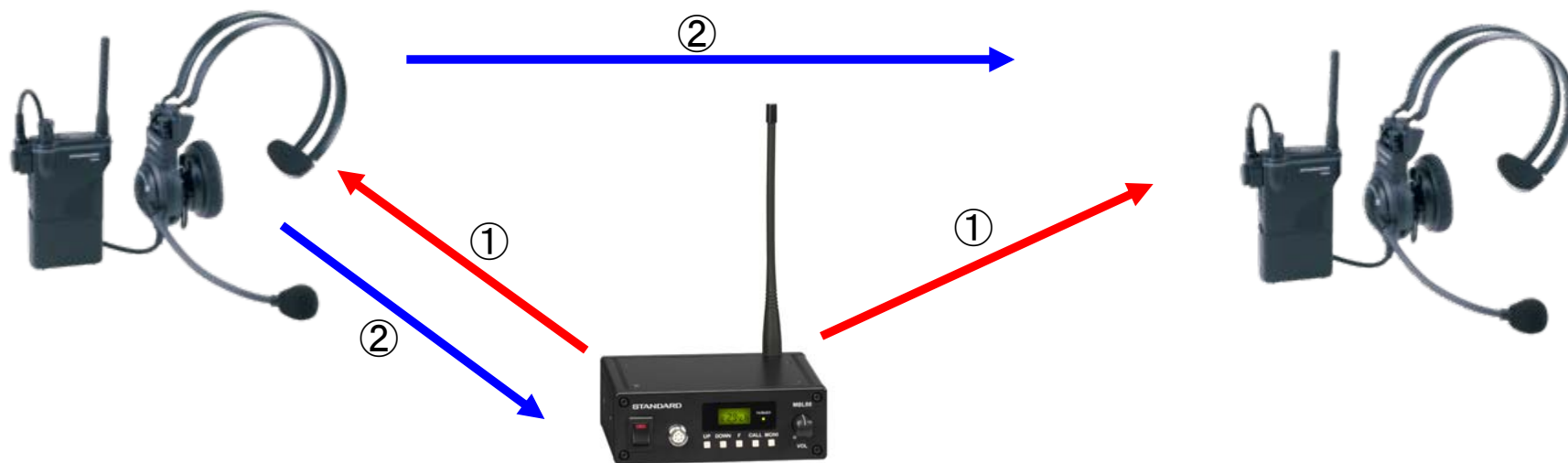
（この際、個別【Id 03】は、個別【Id 01】【Id 02】 両方の会話を受信）

* 同様に【Id 01】－【Id 03】間（【Id 02】は受信）、【Id 02】－【Id 03】間（【Id 01】は受信）での同時通話も可能。

さらに子機台数は個別【Id 01～3】の3台に限らず4台以上でも可能です。

送受信者 個別【Id 02】

受信者 個別【Id 03】



送受信者 個別【Id 01】

2-①. 同時通話型 無線インカム（MICSシリーズ）

下記のようなお悩みはございませんか？

- 単信通話トランシーバータイプの通話スタイルのため、返事がワンテンポ遅れてしまう。
- 通話の際、送信ボタンを押しっぱなしになるので、作業中は両手がふさがってすぐに返答できない。
- 同時通話トランシーバータイプの通話スタイルだけど
1:1（2者間）だけで、作業員全員と通話【作業内容を共有】できない。

■ 使いやすさなら断然、MICSです！ ■

- 指示に即答でき、作業員同士の連絡が迅速になります。
- 電話感覚の通話スタイル、誰でも簡単に使えます。
- 完全ハンズフリー、両手が使えて作業がはかどります。
- 作業員全員が通話に参加でき、安全面、作業効率もアップ。

2-②. 同時通話型 無線インカム 運用例(MICSシリーズ)

* 複数同時通話は

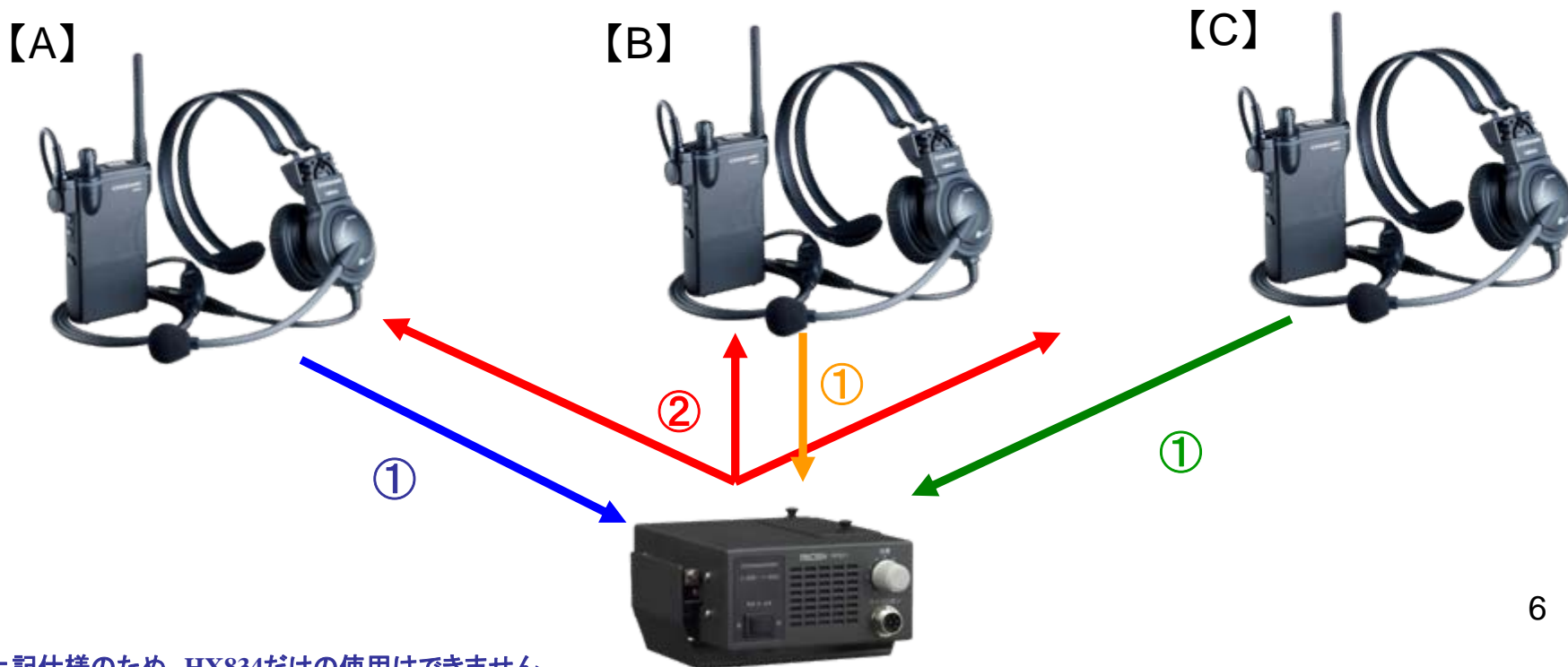
①子機Aが通話ボタンを押して親機へ送信する、同様に子機B・Cも送信する。

②親機は子機A、B、Cの音声をミックスして子機A、B、Cへ送信。

(親機自身の音声も同時に送信)

■これで作業をしながら《完全4者間》でハンズフリー通話ができます。

* 無線インカムには《2者間から最大9者間》で同時通話ができるシステムをご提案可能。



2-③. 同時通話型 無線インカム MICCSシリーズラインアップ

■スタンダードの無線インカムなら現場の用途に合わせて
下記3タイプの親機から選択いただけます。



Pro 【1:8】最大9者間

■親機:RP823×1

■子機:HX834×8



Lite 【1:4】最大5者間

■親機:RP826×1

■子機:HX834×4



Jr 【1:2】最大3者間

■親機:RP831×1

■子機:HX834×2

* RP826/RP831については別途外部アンテナが必要です。

■携帯型子機はすべて、HX834 となります。

